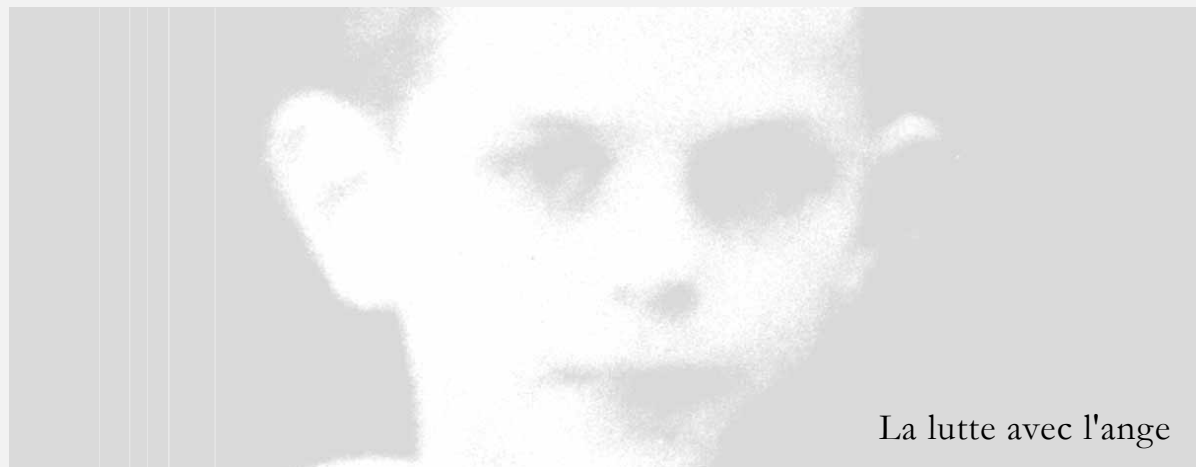


version d'évaluation

このファイルは P.P.Content Corp. 社刊行書籍のトライアル版です。このファイルは、読者が当社刊行図書の購読を検討する場合に限ってのみ利用できます。一般に広く無料で公開されているわけではありません。このファイルおよびこのファイルに入力されている電子的データの著作権は著者ならびに当社に帰属します。あなたがこのファイルを第三者に提供すること、公開すること、頒布することは禁じられています。



La lutte avec l'ange

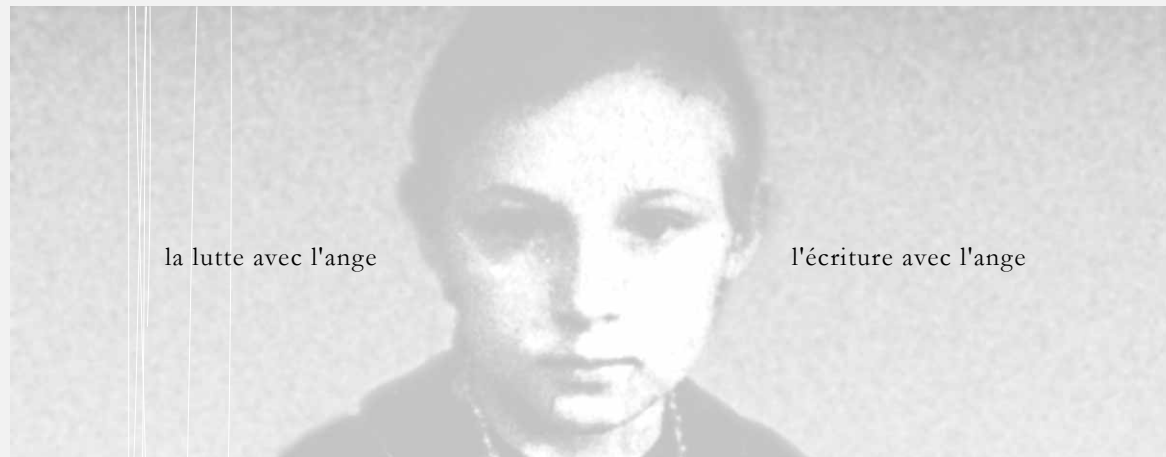
#VV06TRIALPDF

copyright (c) P.P.Content Corp.

vernissage volume 6

La lutte avec l'ange

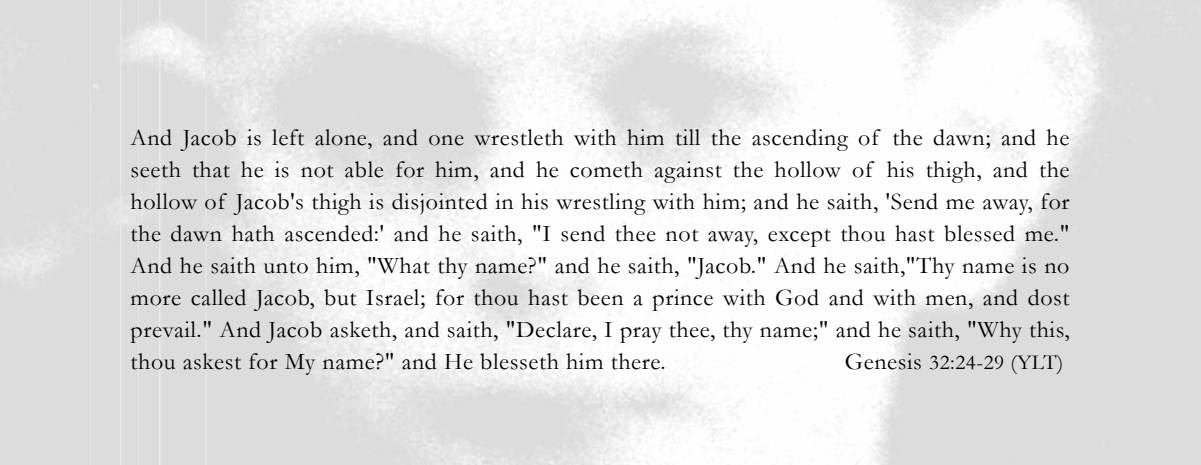
vernissage volume 6 / La lutte avec l'ange



la lutte avec l'ange

l'écriture avec l'ange

vernissage volume 6 / La lutte avec l'ange



And Jacob is left alone, and one wrestleth with him till the ascending of the dawn; and he seeth that he is not able for him, and he cometh against the hollow of his thigh, and the hollow of Jacob's thigh is disjoined in his wrestling with him; and he saith, 'Send me away, for the dawn hath ascended:' and he saith, "I send thee not away, except thou hast blessed me." And he saith unto him, "What thy name?" and he saith, "Jacob." And he saith, "Thy name is no more called Jacob, but Israel; for thou hast been a prince with God and with men, and dost prevail." And Jacob asketh, and saith, "Declare, I pray thee, thy name;" and he saith, "Why this, thou askest for My name?" and He blesseth him there. Genesis 32:24-29 (YLT)

ヤコブはひとりあとに残ったが、ひとりの人が夜明けまで彼と格闘した。ところでその人はヤコブに勝てないのを見て、ヤコブの腰の関節を打ったので、ヤコブの腰の関節は格闘しているあいだにはずれた。その人は言った。「夜が明けからわたしを去らせてください」。ヤコブは言った、「わたしを祝福してください。あなたを去らせるわけにはまいりません」。その人は言った、「あなたの名前は何とのですか」。彼は答えた、「ヤコブです」。その人は言った、「あなたはもはや名前をヤコブと言わず、イスラエルと言いなさい。あなたが神と人に力を争って勝ったからです」。旧約聖書『創世紀』第三章、「天使との格闘」と呼ばれるテクストは、われわれにあるひとつの真実を指し示してくれる。それはイスラエルという国民国家の、その起源に横たわる隠された真実ではなく、もっとささやかなひとつの真実、つまり、われわれのエクリチュールの根源に横たわるひとつのささやかな真実である。

ゆるやかにほどこかれわたしはさむいというのだろうか。ゆたかな午後の日差しがわたしの乳房にくれそめて、やまつぐみの声かしたら、わたしは言い、そう言いさしてにごしたことばの白さを、男はあらためて聴いてみることをしなかったのだろうか。その結び目に唇をかさね、ただあわただしく唇をかさねるだけで、その結び目のしろさをあらためてひもといてみることを男はしようとはしなかったのだろうか。ながれてゆく潮、ながれ

てゆく潮のかたむき、ながれてゆく息の満ち干、ながれてゆく鳥どもの騒々しい声、はまひるがおの堅い蕾にういういしくむすびはじめる滴をすするところから、ささやかな悲しみのきざしをおびてみだれはじめるわたしの息が、男の耳に、男の耳のそばだてられた海のしじまに、あたかもくりかえされては忘れ去られてゆく波のひびきのひとつであるかのように緩やかに差し、男の耳朵を、その耳のしじまをかすかに明るませていたのを男はかたくなに肯んじようとはしなかったのだろうか。枯れ葉のように。あたかも枯れ葉のように。かりにわたしが男を愛したのはほんとうだとしても、かりに男がわたしを愛したのはほんとうだとしても、あらかじめ朽ち果てたひとつの廢墟として男はわたしを愛したのだということとはほんとうかもしれない。

わたしは作者の地位を明け渡します。わたしは発話者としてのわたしを譲りわたします。もはや主辞をあらわす一人称のことばはわたしから遠ざかり、もはやわたしは「わたし」の場所から遠ざかり、とうに朽ち果てた廃墟か仮ごしらえの舞台装置のうえを歩き過ぎる風、あるいはその瓦礫と化した痕跡のあいだを吹きまとう、夢のようによそよそしい、また見知らぬひとのささやきのように悩ましい幾たりかの声どもに、わたしはわたしの「わたし」をゆずりわたします。《 あなたの名前は何とのですか》。あなたの名前は何とのですか。それはわたしに呼びかけるでしょう。それは「あなた」と言っわたしを呼び止めるでしょう。それはわたしを立ち止まらせ、わたしを振り返らせるでしょう。振り仰ぎ、ゆるやかに見かえりつつ茫然と抱きすくめられるその人に、それはささやかな息をわたすでしょう。あたかも言葉がみずから語りだし、作者にある真実を告げ知らせようとす、そのような息の受け渡しがそこで行われてでもいるかのように、それはその人を呼び止め、その人に息を吹きかけるでしょう。「天使との格闘」と呼ばれるテクストがわれわれに教えてくれるのはつまりこのようなこと。それは、書くということの、その根底に横たわる根源的な他者性そのものこと。

トライアル版でご覧いただけるのはここまでです。

続きをご覧いただくには、ご購入のお申し込みが必要です。ご購入のお申し込みは、P.P.Content Corp. 社所定のフォームにて必要事項を明記のうえ、ご送信ください。なお、お申し込みにあたっては、購読規約をよくご確認ください。

<http://www.cenquei.com> Librairie P.P.Content Corp.

書名 vernissage volume 6 / La lutte avec l'ange

著者 千慶烏子

編集・発行 P.P.Content Corp.

版型 PDF (A4 版変型フラット) 60 ページ 図版多数